

1. 現代社会の環境変化に応じ、健康医療の分野においても、電子カルテの普及、医療画像のネット利用、レセプトの電子化などいろいろな導入がなされています。このような環境のもとで、考えられるメリットとデメリットについて、述べなさい。(第2章 情報化社会、第3章 保健医療と情報)

2. 医療の質 (Quality) には3つの視点、(1) 構造、(2) 過程、(3) 成果という段階が提唱されている。これについて、(a) 医療を提供する立場、(b) 医療消費者の立場、それぞれからみた情報の主な項目を挙げてみなさい。(第1章 情報の定義と特徴)

3. EBM (Evidence Based Medicine)、EBHC (Evidence Based Health Care) にもとづく保健医療活動を批判的に検証する際、どのような点に注意すべきか? このとき、プロセスのステップを考えなさい。(第3章 保健医療と情報)

4. 看護記録を作成するために求められる看護師の思考と行為について、情報共有、ケア実践の向上となる項目【1】個人情報【2】療養計画【3】経過記録【4】看護サマリーを説明しなさい。(第5章 医療における情報システム)